

2024 年 10 月 18 日

ユニアデックス

ラクスに「Pure Storage FlashBlade」を提供

～ 楽楽シリーズのユーザー数急増に伴う課題を解決、年間コスト 90%削減を実現 ～

ユニアデックスは、「楽楽精算」「楽楽明細」などのバックオフィス系クラウドサービスを提供する株式会社ラクス（以下、ラクス）に「Pure Storage FlashBlade」を提供し、2024 年 6 月から本番稼働しています。

導入後、ラクスのユーザー数急増に伴う多くの課題を解決し、パフォーマンスは 10 倍に向上、将来的な年間コストは 10 分の 1 に圧縮することができました。

【背景】

ラクスが提供する「経費精算システム」「電子請求書発行システム」「販売管理システム」などのバックオフィス系クラウドサービス「楽楽シリーズ」は、電子帳簿保存法改正やインボイス制度施行に対応しているため、企業の労務管理や経理などの業務を中心に近年ユーザー数が急増しています。

これにより、領収書や請求書など企業が管理すべき非構造化データ量が急増し続ける中で、十分なパフォーマンスを維持するためには、これまでのソフトウェア型オブジェクトストレージ環境では膨大なサーバー数が必要となり、その調達コストや運用負荷が大きな課題となっていました。

【概要】

ラクスでは、従来のオブジェクトストレージ環境を継続利用する場合、年間 10 台で運用していたサーバーを 10 年後には毎年 30 台購入・拡張が必要となり、データセンターのラック台数は 128 基になると試算されていました。

ピュア・ストレージの「Pure Storage FlashBlade」は、非構造化データの急増に対応可能なスケールアウト型のオールフラッシュストレージです。ブレードを追加するだけで容易に容量と性能の拡張ができます。しかしながら、ラクスは、お客さまの重要なデータを預かるクラウドサービスを提供しているため、事前に Pure Storage FlashBlade の負荷試験や障害テストなど、徹底的な検証を行う必要がありました。

そこで、ユニアデックスはピュア・ストレージと連携し、綿密な PoC（Proof of Concept：概念実証）を行い、設計立案からデータセンターの事前調査・現場調整などの周辺サポートに至るまで、Pure Storage FlashBlade の導入・構築を実施し、スムーズな移行を実現しました。

ラクスは、今回の Pure Storage FlashBlade への移行の結果、ストレージのレイテンシー（遅延時間）は 10 分の 1 に削減され、容量密度は 5～6 ラックから 1 ラックまで圧縮、同一デバイスで当初の 4 倍の容量へ拡張が可能になりました。加えて、調達やデータセンター費用まで含めた将来的な年間コストは、およそ 10 分の 1 まで削減することが可能となります。

■今回提供の「Pure Storage」製品

FlashBlade 



【今後の取り組み】

ラクスは今後、各種サービスのデータを Pure Storage FlashBlade へ統合し、全社的なランサムウェア対策の強化に向けて、新たに「Pure Storage FlashArray」の採用を進めていく予定です。

ユニアデックスはラクスの事例を基に、今後も、ICT インフラのスペシャリストとして、サービス事業者をはじめとするさまざまな業界のお客さまの情報システム最適化を強力に支援していきます。

以 上

※記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

＜本ニュースリリースに関するお問い合わせ＞

ユニアデックス株式会社人事部コーポレートコミュニケーション推進室

<https://www.uniadex.co.jp/contact.html>

Vision2030

わたしたちは、デジタルコモンズを
誰もが幸せに暮らせる社会づくりを推進するしくみに育てていきます

私たちは志や共感をベースに持続可能な社会の実現を可能にするために、
さまざまなサービスやノウハウをデジタルの力でつなぎ合わせ、
社会の共有財であるデジタルコモンズとして創造し、提供していきたいと考えています。
その実現に向けて、ビジネスエコシステムのパートナーと共に
多様な業界、業種、マーケットの視点から社会に貢献することにより、新たな価値やマーケットの創出につなげていきます。